

募集要項

○日 時 日 程：令和8年8月26日
9月2日・9日・16日・30日（23日は休講）
10月7日・14日・21日・28日（全9回・すべて水曜日）

○会 場 時 間：午後7時～午後8時30分
浜松市地域情報センター 1階ホール（中央区中央一丁目12番7号）
※施設には駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

○募集人員 80名（抽選）
○応募資格 18歳以上の方（高校生を除く）
○受講料 1,000円（全9回分） ※初回の参加時に徴収いたします
○応募期間 令和8年7月1日（水）～8月17日（月）
○応募方法 ア）①郵便番号、②住所、③氏名（ふりがな）、④年齢、⑤電話番号、
⑥過去の受講回数、を記載して往復はがきで郵送ください。
（8月17日必着）
イ）右記QRコードまたは、浜松市HP〔検索 市民アカデミー〕に
リンクのある申込専用フォームより、上記 ア）と同じ①～⑥と
メールアドレスを入力し送信して下さい。



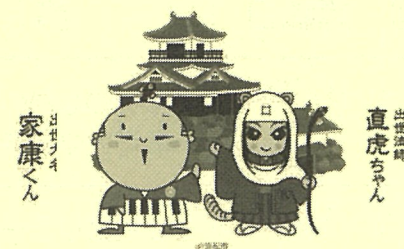
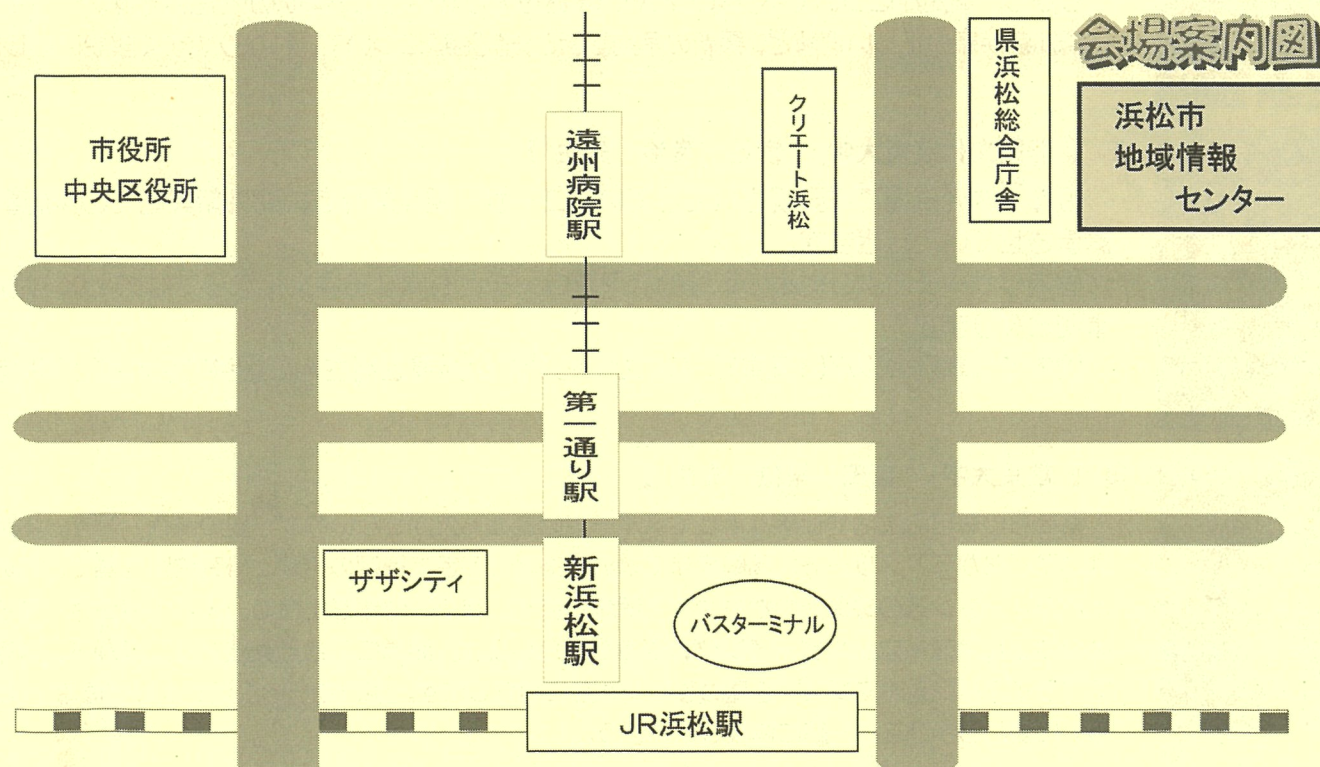
○結果連絡 アの方法で応募された方）往復はがきを返送します。
イの方法で応募された方）令和8年8月18日（火）メールでご連絡します。

○問合せ先 〒430-8652 浜松市中央区元城町 103-2
（はがき送り先） 浜松市中央区役所 まちづくり推進課 市民アカデミー係 Tel.(053)457-2779
E-mail : c-machi@city.hamamatsu.shizuoka.jp

○そ の 他 天災等の影響により、一部内容を変更する場合がございます。また開催途中で中止となった際は、受講料のご返金を致しかねますことをあらかじめご了承ください。その場合、ご希望の方には中止となった講義の資料をお渡しいたします。
受講にあたり合理的配慮が必要な場合は事前にお知らせください。

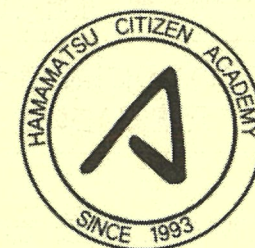
○共 催 静岡大学 工学部／情報学部 浜松医科大学 浜松学院大学 静岡文化芸術大学
聖隷クリストファー大学 常葉大学 静岡産業大学 静岡理工科大学（順不同）

【会場】浜松市地域情報センター ホール（中央区中央一丁目12番7号）



- 令和8年度・第34回 -

浜松市民アカデミー



受講生募集のお知らせ

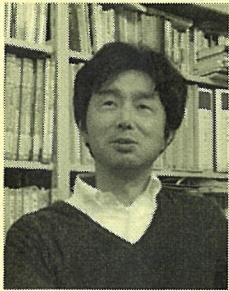
「今を学び、未来を創る」

～広がる知と可能性～

- ・さまざまな情報が交錯する現代社会。それら情報を正しく読み解くことで、自分の生き方に新たな道しるべを発見することができます。
- ・より豊かに、よりスマートに生きていくために新たな知識を身に付け、知恵を育んでみませんか。
- ・「浜松市民アカデミー」では、向学心旺盛なあなたを満足させる全9講座をご用意いたしました。
- ・県西部8大学9学部の先生方が、専門性を生かし、最新の情報と日常生活で役立つ知識・知恵を分かりやすくお届けします。是非ご聴講ください。

浜松市

回	講義日	講 座 内 容 (会場 浜松市地域情報センター・1階ホール)
①	8/26 (水)	「学校のなかの博物館：DX時代に地域の記憶をひらく」 静岡大学 情報学部 准教授 村野 正景（むらの まさかげ）先生
②	9/2 (水)	「リハビリテーションの本質とQOL ～笑顔で暮らすためのヒントを学ぶ～」 聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部 教授 泉 良太（いずみ りょうた）先生
③	9/9 (水)	「オリンピック・パラリンピックの知恵を明日へ：静岡メダリストの系譜に学ぶ歴史の真価」 静岡産業大学 スポーツ科学部 准教授 和所 泰史（わしょ やすし）先生
④	9/16 (水)	「カラダとキモチの情報学 ～感性情報処理入門～」 静岡理科大学 情報学部 教授 渡邊 志（わたなべ さとし）先生
⑤	9/30 (水)	「人が集まるイベントとは？—観光とまちづくりの視点から考える—」 浜松学院大学 地域共創学部 准教授 鄭 玉姫（じょん おくひ）先生
⑥	10/7 (水)	「AI エージェントは社会の中でどのように振る舞うか」 静岡大学 工学部 教授 一ノ瀬 元喜（いちのせ げんき）先生
⑦	10/14 (水)	「認知症の診断と治療の進歩」 浜松医科大学 光医学総合研究所 特任准教授 寺田 達弘（てらだ たつひろ）先生
⑧	10/21 (水)	「ユーザー視点のデザインリサーチ（インドネシア新事業企画に向けたUX調査）」 静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 宮地 良治（みやち よしはる）先生
⑨	10/28 (水)	「脳を鍛えて健幸にすごそう」 常葉大学 健康プロデュース学部 准教授 吉田 早織（よしだ さおり）先生



①【静岡大学 村野 正景 先生】

学校は私たちにとって非常に身近な存在です。多くの方が、そこで学び、さまざま時間を過ごしてきたことでしょう。しかし、その学校のなかに博物館がある—そう聞くと、少し意外に感じられるかもしれません。実は、学校には古い写真や標本、作品など、地域の記憶を伝える多様な文化資源が残されています。学校がこれまでと同じ形であり続けるとは限らない時代に、これらの資料は何を語り、どのように未来へ継承されるのでしょうか。本講座では、学校が地域のなかで果たしてきた役割を学校資料を通じて見つめ直し、DX時代にこれらを護り、活かし、ひらく意義を考えます。



②【聖隷クリストファー大学 泉 良太 先生】

人生100年時代、ただ長生きするだけでなく「どう生きるか（QOL=生活の質）」が重要視されています。

本講座では、医療・福祉の視点から、リハビリテーションの本当の役割を紐解きます。「自分らしい暮らし」を支えるリハビリの本質について、一緒に楽しく学んでみませんか？



③【静岡産業大学 和所 泰史 先生】

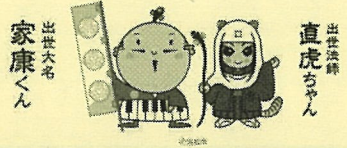
静岡は、古くから多くのオリンピックを輩出してきたスポーツ王国です。

本講座では、静岡ゆかりのアスリートたちの足跡を辿ります。

過去から受け継がれた知恵を紐解き、これからの未来をより豊かに生きるためのヒントを皆様と一緒に見つけていければ幸いです。

○全9回（8～10月）

幅広い分野の
知識が得られるのじゃ



④【静岡理科大学 渡邊 志 先生】

私は手のひらサイズのセンサとパソコンを使って、無意識で行われるカラダの活動を推定する研究を行っています。

一方、ゼロから1までの数値で人間の気持ちを表現しようとする研究も行っております。これらはいったいどういうことでしょうか？

その一端をご紹介します。



⑤【浜松学院大学 鄭 玉姫 先生】

イベントは単なる催しではなく、地域の魅力を発信し、人と人をつなぐ大切な機会です。

本講義では、「シン・ハママツ計画（2025）」や「浜名湖花フェスタ 2026」を事例に、イベントが地域に果たす効果や課題を紹介します。

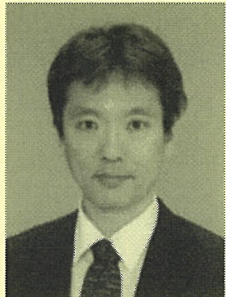
そのうえで、イベントがより良いまちづくりにどのようにつながるのかについて、皆さんと一緒に考えます。



⑥【静岡大学 一ノ瀬 元喜 先生】

ここ最近の生成 AI の一般への爆発的普及によって、AI が我々にますます身近な存在になってきました。特に人間の「意思決定」に関わる部分を AI に助けてもらう場面も増えてきています。みなさんも日頃の悩みなどを ChatGPT に相談してアドバイスをもらった経験はないでしょうか？

この「意思決定できる AI を人間の集団にうまく組み込む」ことによって、私は社会で必要な「人間の協力」が促されるのではないかとという点に着目して、LLM（大規模言語モデル）を用いた研究に精力的に取り組んでいます。本講演では、私たちが進めている LLM エージェントの社会的振る舞いに関する一連の研究をいくつか紹介し、AI が社会的状況の中で示す特徴を明らかにするとともに、将来、人間と AI が共存するハイブリッドな社会において、社会をより良くするために、AI をどのように設計し、用いるべきかについてお話したいと思います。

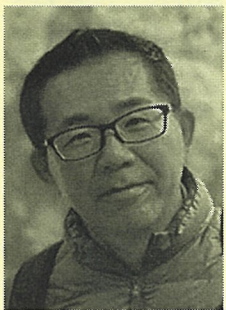


⑦【浜松医科大学 寺田 達弘 先生】

超高齢化社会をむかえている我が国において、認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。

実際、認知症患者さんは増加してきています。これまで、認知症は治らない病気として認識されてきましたが、めざましい医学の発展とともに、早期発見と早期治療の可能性がみえてきました。しかし、認知症について不安なことやいまだに聞けないことも多いかと思います。

認知症疾患の正しい理解と、最新の早期診断と先制治療について、わかりやすく解説いたします。



⑧【静岡文化芸術大学 宮地 良治 先生】

近年、開発現場で重要視されてきているユーザー視点開発を、海外新興国での実施事例で講演させていただきます。

国内リサーチおよび従来の定量的なアプローチとも異なる異文化ならではの UX リサーチ事例となります。

国内では事例の少ない講演で、なにかしら新しい発見を皆さんに提供できればと思います。



⑨【常葉大学 吉田 早織 先生】

私たちの毎日の生活や仕事、そしてスポーツの場面で欠かせないのが“脳の働き”です。本講座では、子どもからアスリート、高齢者まで幅広く指導してきた講師の経験と研究成果を基に、脳の働きとパフォーマンスの関係をわかりやすく解説します。また、健康を土台に、より生き生きと暮らすためのウェルネス・ウェルビーイングの視点も紹介します。簡単にできる実技も交えながら、脳を鍛えて“ライフパフォーマンス”を高めるヒントをご紹介します。明日からの生活がより“健幸”（けんこう）に変わる学びを、一緒に体験しましょう。